

その愛は、... これからの出発点。

I Care 本のしおりにして一か月間生きるよう思い出しましょう。

マリア
イタリヤ

新

しいクラスメートのヴァリドですが、だんだんみんなにとって問題になってきました。蹴ったり殴ったりするので、いやな思いをしない日はありませんでした。

私にも、私がしたことでないのに責めて、手を出すことがあります。クラスメートの親たちは、彼を学校から遠ざけることが解決策と考えていますが、私にはそれが正しいとは思いませんでした。

ヴァリドがよく殴られるような家庭に育っていなかったら、そうはしなかったらと思うます。

この精神を共に生きているお母さんと話したところ、クラスの委員会でヴァリドを擁護するように話しました。学校から追放する代わりに、彼の両親と連絡を取り合いながら、クラスにうまく入っていけるように助けたらどうかと提案しました。議論を交わした後で、その提案が受け入れられました。

私もヴァリドのために、何かできないかと思い、2人の友達と一緒に彼の誕生日のお祝いの準備しました。色々必要なものを準備し、プレゼントの皮のボールを買いました。誕生日の朝は、クラスメートたちみんなが机の下に隠れて、「誕生日おめでとう」の大きな布をもって彼が来るのを待っていました。

ヴァリドが教室に入るとみんなが机から出てきたので、彼は本当に驚き、喜んで我を忘れたかのようにでした。ケーキをみてもとても喜び、プレゼントはなおさらでした。その日からヴァリドは私のとてもいい友達になりました。今では、落ち着いてきて学校の外でもクラスメートに笑顔で挨拶しています。

君だったらどうする？

みんなにとって
新しい友達

神の栄光のためにキリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに相手を受け入れなさい。

(ローマの信徒への手紙 15,7)

いのち

Da un commento di Chiara Lubich - Adattamento Centro Gen 3

この言葉は、イエス様の愛の最も感動的な側面の一つを思い起こさせます。それは、イエス様が地上で生活された時、たえずすべての人を受け入れ、特に疎外された人、貧しい人、神様から一番遠い人を受け入れてくださったことです。人間の高ぶりと自己中心により社会に築かれた壁を、イエス様は一つ一つ壊しながら、すべての人に信頼と親しみ、友情をもたらされました。

私たち一人一人を全面的に受け入れてくださる天の御父の愛と、それゆえ私たちが互いに持つべき愛とが、イエス様の内に示されています。イエス様が私たちを受け入れてくださったように、私たちが互いに受け入れ合うことが、第一の神様のみ旨です。

を
取り去って
接する難しい
ことも
いっしょに
乗り越える

このみ言葉は、私たちがよくしてしまう、乗り越えるのが最も難しい、自己中心に目を向けさせます。それは、自分の周りに壁を築き、人を差別し疎外する傾向であり、自分とは異なる人、平穩無事な生活の邪魔になりそうな人を排除する傾向です。

一歩
また一歩
皆に

達するように

自分とは異なる他者を受け入れることはキリスト教の愛の土台です。そしてそれは今日イエス様が特に私たちを招いておられる「愛の文明」「交わりの文化」を築いていくため、私たちが踏み出すべき第一歩、出発点です。